

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

令和3年3月18日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	○		個々の特性や課題によって、個室やパーテーションの利用で人数に見合う空間を利用するようにしています。	COMPASS の特徴の一つが言語療育に特化していることなので集中しやすい環境づくりに配慮していきます。
	2	○		法令で定められた以上の人員配置で対応しており、その全員が有資格者です。	今後も同様に適切な人員を確保・配置してまいります。
	3	○		遊び・個別指導・集団活動のスペースを分けた活用でわかりやすい構造化に努めています。 現時点は車椅子利用の児童の受け入れはありませんが、室内に段差がなく、机を移動して動線を確保できるので、車椅子での移動に問題はありません。	今後も生活空間は児童にとってわかりやすく構造化され、また、個々の特性に応じた過ごしやすい環境への配慮も合わせて工夫していきます。 車椅子等利用の児童の利用希望を受けた場合には完全なバリアフリー化への検討を行ってまいります。
	4	○		清潔を保つよう配慮し、療育開始前や終了後に、教材の清掃、指導室、トイレの清掃と除菌を行っています。	今後も同様に心地よさと清潔な空間の維持に努めて参ります。
業務改善	5	○		常勤、非常勤を問わず全職員が業務に関する問題点を出し合い、改善策を話し合う環境づくりに努め、話し合いの機会を設けています。	今後も定期的に会議を開き、共通認識と意思統一の徹底を図り、意見交換を行い、業務改善を目指します。
	6	○		定期的に、アンケートによる評価を実施しています。 頂いたご意見やご要望は、周知し、検討して順次改善に努めています。	今後も全職員で共通認識を持って業務改善に取り組みます。
	7	○		事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	今後も毎年 Web 上で自己評価の公開を行ってまいります。
	8	○		各種部会等の会合で、他事業所から助言を頂いていますが、現時点では第三者による外部評価は実施できておりません。	第三者からの評価受審については今後の検討課題と致します。
	9	○		事業所内研修など資質向上のための勉強会は定期的に行っています。 また外部研修は、コロナウイルスの影響でリモートでの研修に参加し、学んだことは全職員に周知し、共有できるように、更に事業所内研修を行っています。	今後も各種研修には積極的に参加し、職員の資質の向上に努めます。
適切な支援の提供	10	○		アセスメントの実施で、保護者様のご意向を伺い、また相談支援事業所や園等と、定期的な担当者会議等で情報を共有した上で、児童の課題を検討、分析を行い、支援計画を作成しています。	今後も定期的なアセスメントを行い、児童の現況や変化を踏まえ、方向性を考えていきます。
	11	○		モニタリング時には、統一化されたアセスメントシートを使用して状況を把握し、保護者様のご意向も確認しています。	今後も継続して、正確にアセスメントできるよう、病院や関係機関の診断、発達検査結果等も取り入れて行きます。
	12	○		保護者様との面談で吸い上げた情報と、事業所での児童の状況に基づき、児童発達支援ガイドラインに示された項目からその児童に必要な項目を適切に選択の上、具体的な支援内容を設定しています。	今後も継続してガイドラインから必要項目を選択し、適切で具体的な支援内容になるように努めてまいります。
	13	○		支援計画は、支援に携わる職員全員が周知し、計画に沿った支援の提供を行なっています。	今後も支援計画に沿った支援が行われるように努めてまいります。
	14	○		支援計画をもとに、全職員で意見を出し合い、立案しています。	今後も計画に沿った支援が行われるようチームで立案を行なっていきます。
	15	○		児童の特性に合わせながら、季節感のある生活体験活動を行いました。 季節の制作や行事は、児童が成功の体験を得られやすいよう配慮、また行事や伝統が児童にわかりやすい形で伝わるよう配慮しています。	児童の希望も採用し、平日の連続した活動だけでなく、今後は長期休みのイベント、季節ごとの行事や制作も取り入れ、活動に変化をつけていきます。
	16	○		午前中に個別活動、午後は集団活動と、適宜、支援計画や児童の状況を把握しながら、その時に合った活動を選択しています。	今後も、その児童に必要な活動内容であるかどうかを十分に勘案し支援計画を作成していきます。
	17	○		前日の振り返りを元に、朝礼時に打ち合わせを行い、役割分担の確認を行っています。	今後も当日の流れ・支援内容や役割分担について情報共有の上、支援に取り組んでいきます。
	18	○		支援終了後、全職員への周知が難しい場合は、翌日のサービス開始前に支援内容の振り返りを必ず行って、情報共有をしています。	今後も報・連・相を守り、どんな小さなことでも意見を出し、全員で話し、振り返りを行ってまいります。
	19	○		日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	今後も継続して記録を残し、検証や改善に繋げていきます。
20	○		定期的にモニタリングを行い、目標の達成状況等を保護者面談にて詳しくご説明しています。 保護者様のご意向をお聞きし、児童の現状を考えた上で、見直しや今後の方向性を定めています。	今後も定期的モニタリングを行って、現状把握や見直しを行う必要性を判断していきます。	
関係機関や保護者との連携	21	○		担当者会議には、児童の状況を一番把握している発育管とその児童と関わり深い職員が同行しています。	今後も同様に継続して参ります。
	22	○		地域とのつながりを大切に、保育園、幼稚園とも密に連携を図り、必要に応じて、児童の様子や、日々の支援について情報共有し、連携した支援を行っています。	今後も関係機関との関わりを継続し、連携した支援ができるよう努めてまいります。
	23	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
	24	○		現在、特別な医療ケアが必要な児童は在籍しておりません。	事業所は重症心身障がい児以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し受け入れ態勢、事業所のあり方について模索してまいります。
	25	○		情報共有出来るよう保護者、幼稚園と事業所で連絡メートのやり取りを行い、相互理解を図っています。	今後も関係機関と連携して支援内容等の情報共有と、相互理解を図ってまいります。
	26	○		現時点では対象の移行支援が必要な児童はありません。 進学先へは必要に応じて連絡をとり、保護者様と交え関係機関と情報共有を図れるよう努めます。	今年度は新入学を控えた対象児童もいるため、小学校と情報共有と相互理解を図り、スムーズな移行支援ができるよう努めます。
	27	○		例年は、積極的に地域の各種会議や研修に参加していましたが、今年度はコロナ禍のため、参加機会がありませんでした。	今後も助言等を受け、研修にも積極的に参加してまいります。
	28	○		今年度は、コロナウイルスの影響で自粛しています。	コロナ収束後は、保護者様のご意向を伺いながら地域児童との交流の機会について今後も検討してまいります。
	29	○		職員の資質向上を図る観点から出来る限り複数職員の参加を心掛けています。	今後も同様に、積極的に参加していきます。
	30	○		連絡帳や送迎時にその日の療育内容や児童の様子をお伝えし、保護者様からはご家庭での様子を聞き取り、情報共有に努め、課題を探り、療育に役立てています。	今後も同様に共通理解に努めます。
保護者への説明責任等	31	○		保護者様との日常的な会話の中で、ご相談を受け、児童との関わり方について助言を行っています。	今後もご家族への支援に努めます。
	32	○		契約時に重要事項説明書や利用契約書を通して詳しく説明を行い、納得して頂いています。	今後も分かりやすく丁寧な説明を心がけてまいります。
	33	○		共有ガイドラインが示す支援内容と保護者様のご意向、利用児童の課題のすり合わせを行い、十分説明を行った上で保護者様より理解を得ています。	今後も同様にご意向や児童の状況に応じ、作成した支援計画について丁寧なご説明に努めます。
	34	○		保護者様のお話を丁寧に聞き、事業所での対応事例をお伝えし、また職員間で話し合い、保護者様へ助言を行っています。	今後も同様に対応して参ります。
	35	○		参加型行事を企画し、保護者様同士の交流機会を計画しましたがコロナウイルスの影響で自粛しています。	コロナ収束後は、保護者様のご意向を図りながら、小学校と情報共有の連携、保護者様と職員との交流機会を検討してまいります。
	36	○		現在まで、厳しいご意見や苦情等を頂いたことは無く、苦情の対応機会はありませんでした。	ご意見や、苦情の連絡先は、契約時や掲示物でお伝えしており、今後ご意見を頂く場合には、迅速丁寧に対応できるように体制を整えることとなります。
	37	○		公式 Web サイトのブログで事業所の様子をお伝えしている他、SNS で情報発信し、毎月会報誌を発行しています。	今後も継続して、保護者様へサイトのご案内と毎月の会報誌で情報提供を行って参ります。
	38	○		個人情報の使用、使用後の処理、保管については細心の注意を払い厳重に対応しています。	限り関係機関へ同意を得た場合とし、決して漏れないよう細心の注意を払うとともに法令を順守し、対応いたします。
	39	○		児童の特性に合わせ、分かりやすい情報伝達手段をとり、意思の疎通を図っています。 保護者様にも伝え方や対応について出来る限り相手の立場に立った配慮を行っています。	今後も、情報伝達やスムーズに配慮してまいります。
	40	○		公共施設の職員の方や消防施設の方等に来ていただき交流できる機会を設けています。	コロナウイルスの影響に配慮しながら、保護者様のご意向をうかがい療育に影響のない範囲で企画・運営の検討を行って参ります。
非常時等の対応	41	○		わかりやすいように、マニュアルを入り口付近に移動し、掲示しました。 また、各種マニュアルは、契約時に詳しく説明を行っています。	今後もマニュアルは保護者様へ継続して周知させていただき、定期的に訓練にも行ってまいります。
	42	○		定期的、児童も参加して訓練を行い、災害に備えています。	今後も継続して定期的（半年に1回以上）に訓練を行ってまいります。
	43	○		事前に服薬や発作等の情報について聞き取りを行っています。 情報を全職員が把握して緊急事態に適切な対応が行えるよう配慮しています。	今後も同様に対応してまいります。
	44	○		現在、食物アレルギーのある児童はいませんが、保護者様からの聞き取りの情報を全職員で共有し、万一の場合には医師の指示に基づき対応が行えるよう徹底しています。	医師の指示を順守し、周知を徹底し、都度振り返り、食物の提供を行う場合には細心の注意を払います。
	45	○		都度記録を残し、ヒヤリハット報告書は全職員で閲覧し、確認、共有、検証を行っています。	事故は、ほんの少しの油断から起こる事象なので、少しでもヒヤリとした場合は今後も必ず報告書を作るよう心掛けます。
	46	○		外部の虐待防止の研修には必ず参加し、参加した職員が事業所内研修で周知を行っています。	今後も、虐待防止への研修や討議は続け、研鑽に努めてまいります。
	47	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命や身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者の同意を得ることとしています。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様からの同意を得た上で、支援計画にも記載してまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。